

読み解く力 資料集

令和元年(2019年)5月30日
第1回滋賀県総合教育会議
資料 3

はじめに

滋賀県では、全ての人がこれからの社会で生きていくために必要な「読み解く力」を身に付け、SDGsの視点からも生涯楽しく学び続けることができるための取組を始めたところです。

この取組は、全国でも例を見ないものであり、まだまだ分からないことがありますので、この冊子により学校や地域のみなさんと「読み解く力」について理解を共にし、共に研究していきたいと考えています。

この資料は、「読み解く力」について疑問に感じる点を、ページの上部にQ & A形式でまとめたものです。

加えて補足資料や、「読み解く力」を構成する3つのプロセスとの関係をページの下部に示していますので、併せてご覧ください。

目次

「読み解く力」の全体像

なぜ、今、読み解く力なのか？	2
読み解く力とは？	3

場面別の「読み解く力」

授業（小学校 算数）における「読み解く力」とは？	4
授業（小学校 体育）における「読み解く力」とは？	6
特別活動（学級会等）における「読み解く力」とは？	7
全ての子どもの「読み解く力」を高めるために必要なことは？「特別支援教育の視点から」	8
全ての子どもの「読み解く力」を高めるために必要なことは？「人権教育の視点から」	10
思いを読み解き理解する「読み解く力」とは？（自分の思いを伝えるために）	11
全国学力・学習状況調査で求められる「読み解く力」とは？	12
大学入学共通テストで求められる「読み解く力」とは？	13

読書との関係および発達段階ごとの特徴

読書と「読み解く力」の関係は？	14
発達段階ごとの読み解く力は？	15

なぜ、今、読み解く力なのか？

グローバル化の進展や急速な技術革新の中で、時代の変化を読み解き、柔軟に対応できる力が必要です。

- 多様な人々と出会い、共に生きていくうえで、相手の気持ちを読み解いて理解する力が必要です。
滋賀県では社会で生きていくために必要な「読み解く力」を身に付ける取組を進めています。

新しい学習指導要領が求めること

新学習指導要領では「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」が着目されるようになり学習のプロセスが重視されている。

子ども同士が対話し、それによって自分の考えを広げ深めることや、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。

例えば、全国学力・学習状況調査の問題(小学国語)では、インタビューの様子から話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力が求められているなど。

また、同調査では、長文の文章や多種類の資料を読み、答えを得る問題が出題される傾向にあり、インターネット等に多様な情報が存在する現代社会に必要な対応能力を養うことが求められている。

滋賀の子ども課題(全国学力・学習状況調査結果から)

基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分である子どもや、文章の趣旨を把握したり自分の考えを説明したりする力が十分身につけていない子どもが、全国と比べて多い。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答している子どもが、全国と比べて少ない。

互いの良さを認め尊重し折り合いをつけて話し合うことや、人が困っているときに進んで助けるなど、仲間と周囲とのつながりを大切にすることができていると回答している子どもが、全国と比べて少ない。

読み解く力を育むことにより、子どもたちはどう育つのか

「読み解く力」は、社会で生きるために必要な「学ぶ力」の中の重要な要素であり、身に付けた知識や技能を活用して課題を解決するために必要な力であり、活用できる形での知識の習得とも重要な関係がある。

また、思いやりをもって様々な人と関わり合い、相手をよく理解し、自分の思いや考えを伝えるために必要な力である。

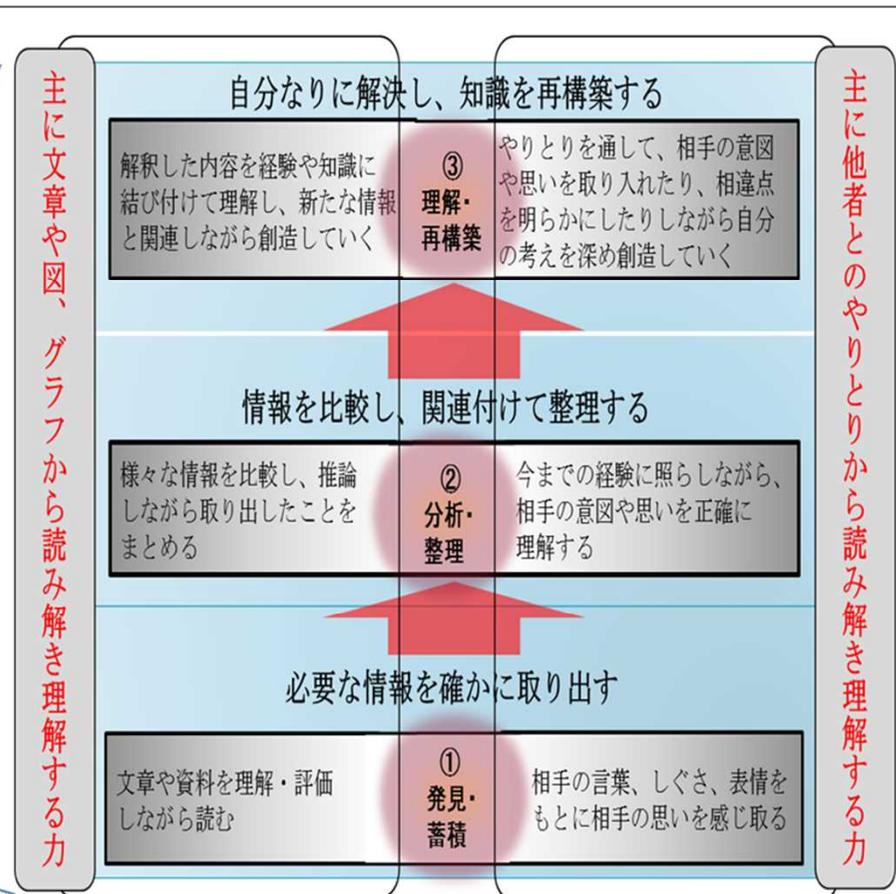
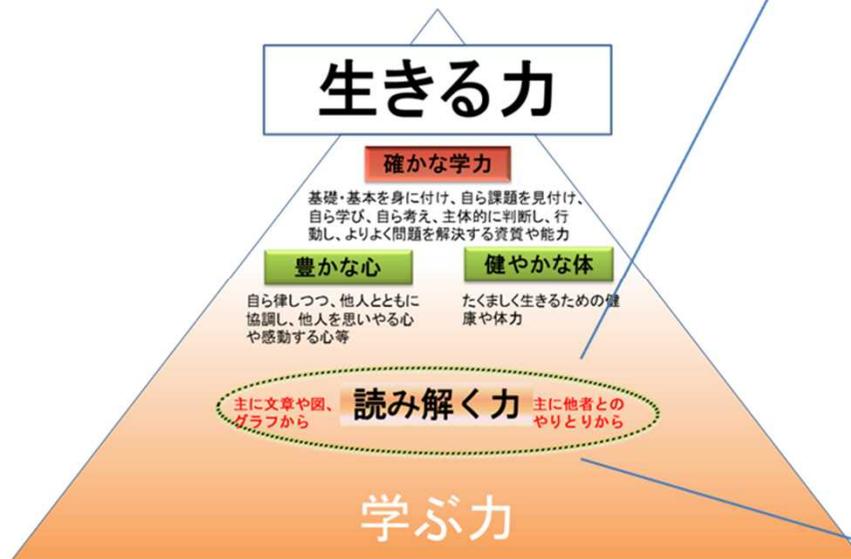
読み解く力とは？

「読み解く力」は主に文章や図、グラフから情報を読み解き理解する力と、相手の言葉や表情等から考えや意図を読み解き理解する力の2つの側面を持つものです。

「読み解く力」には、「必要な情報を確かに取り出す」、「情報を比較し、関連付けて整理する」、「自分なりに解決し、知識を再構築する」という3つのプロセスがあると考えています。

「読み解く力」とは…

- 「読み解く力」は主に文章や図、グラフから情報を読み解き理解する力と、相手の言葉や表情等から考えや意図を読み解き理解する力の2つの側面を持つもの。
- 「読み解く力」には、「必要な情報を確かに取り出す」、「情報を比較し、関連付けて整理する」、「自分なりに解決し、知識を再構築する」という3つのプロセスがあると考え、県全体でこの「読み解く力」の育成に取り組む。



授業(小学校 算数)における「読み解く力」とは？(1/2)

「読み解く力」によりグラフの特徴を複数の観点で捉えて、情報を読み取ることができるようになります。また、自分を取り出した情報と友達を取り出した情報を関連付けて解釈し、結論を見つけることができます。

小学校 算数 「いろいろな観点でグラフから情報を読み取り、考えよう」

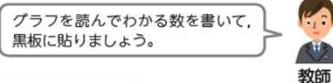
しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」のめあてに取り組んでいます。めあての取り組み状況を調べるために、7月と12月に全校児童に対してアンケート調査をし、その結果をグラフに表しました。そして、グラフから読み取ったことを基に、取り組み状況を新聞で伝えようと考えています。

めあての取り組み状況を調べるために、グラフを読んで分かる数値を発表し、めあてごとに分類する。

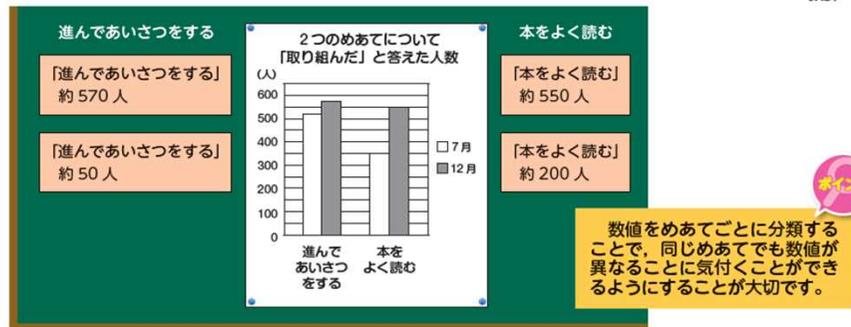
読み取った数値を、グラフと関連付けて説明し、どのような観点で読み取ったかを明らかにする。



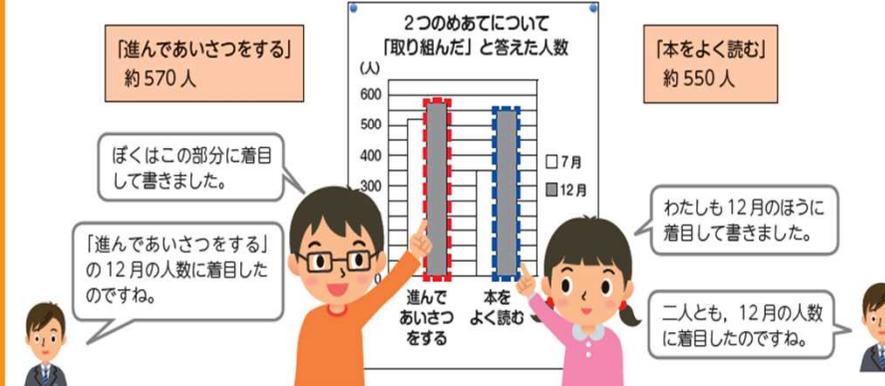
このグラフから、何がわかるかな。



グラフを読んでわかる数を書いて、黒板に貼りましょう。

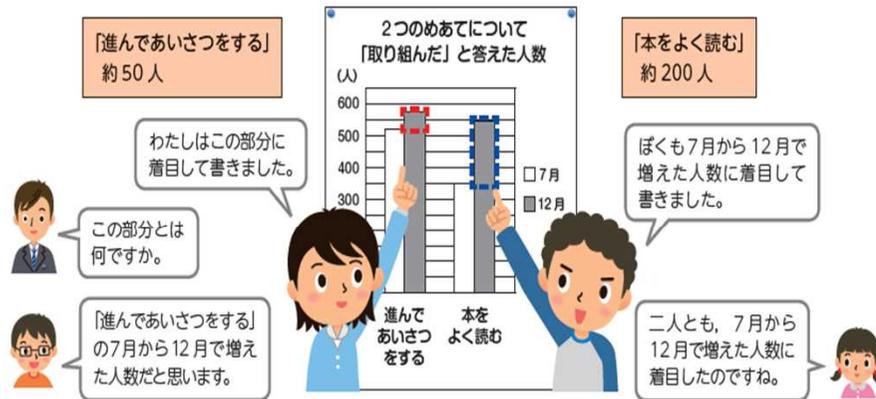


同じめあてについて書かれているものがありますが、人数が違うのはなぜでしょうか。



授業(小学校 算数)における「読み解く力」とは？(2/2)

読み取った数値を、グラフと関連付けて説明し、どのような観点で読み取ったのかを明らかにする。(続き)



ポイント グラフのどの部分に着目して読み取った数値なのかを、グラフと関連付けて捉え、その数値を読み取った観点について明らかにすることが大切です。

複数の観点で読み取ったことを基に、結論を検討する。

- わたしは「進んであいさつをする」のほうがよく取り組んだと考えます。12月の人数に着目すると、「進んであいさつをする」と答えた人数のほうが多いからです。
- ぼくは「本をよく読む」のほうがよく取り組んだと考えます。7月から12月で増えた人数に着目すると、「本をよく読む」のほうが増えた人数が多いからです。
- 着目することが違うと、結論が違うね。どのような結論を伝えるのか、みんなで話し合おう。

ポイント グラフを読み取る観点が異なると、結論が異なる場合もあることに気付くことができるようにすることが大切です。

(平成30年度全国学力・学習状況調査を踏まえた授業アイデア例 小学校(国立教育政策研究所 平成30年9月)より作成)

「読み解く力」による考え方

必要な情報を確かに取り出す

めあての取組状況を調べるために、グラフを読んで分かる数値を発表し、めあてごとに分類する。

情報を比較し、関連付けて整理する

読み取った数値を、グラフと関連付けて説明し、どのような観点で読み取ったのかを明らかにする。

自分なりに解決し、知識を再構築する

複数の観点で読み取ったことを基に、結論を検討する。
読み取る観点が変わると結論が異なる場合もあることに気付く。

「読み解く力」によりグラフの特徴を複数の観点で捉えて、情報を読み取ることができるようになる。また、自分が取り出した情報と友達を取り出した情報を関連付けて解釈し、結論を見つけることができる。

授業(小学校 体育)における「読み解く力」とは？

ルールや基本技術を学んだ上で、「読み解く力」を使って学習カードによる自分の現状に他者の動きを観察して得た情報を合わせることで、運動がうまくできる方法を見つけ出すことができる。
運動の楽しさ、達成感、充実感を得ることにより、運動好き、運動習慣の形成、体力の向上、豊かなスポーツライフにつながっていく。

小学校 体育「ハードル」



学び方ボードで技術を習得する。



自分の実態を把握する。



友達の動きを観察する。



学びの足跡ボードで友達と情報を交換する。



やり方や気持ちを友達と話し合う。



自分のやり方を確立する。

「読み解く力」による考え方

必要な情報を確かに取り出す

自分の実態を把握する。
ルールや基本技術を習得する。
他者の動きを観察する。

情報を比較し、関連付けて整理する

いろいろなものからヒントを得て自分の課題を発見する。
友達との話し合いでコツやポイント、やる時の気持ちをつかむ。

自分なりに解決し、知識を再構築する

様々なヒントを整理し、自分のやり方をみつけ、実践しながら、最適な方法を創造する。
友達のやり方や気持ちと比較して違いを見つけ自分なりのやり方をつくる。

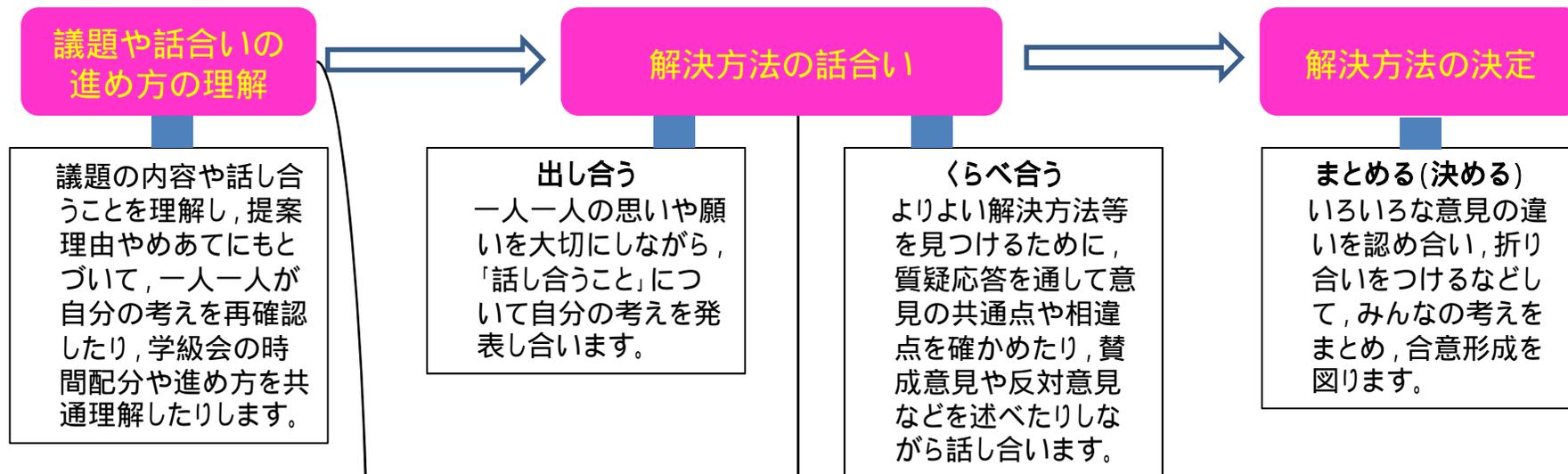
ルールや基本技術を学んだ上で、「読み解く力」を使って学習カードによる自分の現状に他者の動きを観察して得た情報を合わせることで、運動がうまくできる方法を見つけ出すことができる。

運動の楽しさ、達成感、充実感を得ることにより、運動好き、運動習慣の形成、体力の向上、豊かなスポーツライフにつながっていく。

特別活動(学級会等)における「読み解く力」とは？

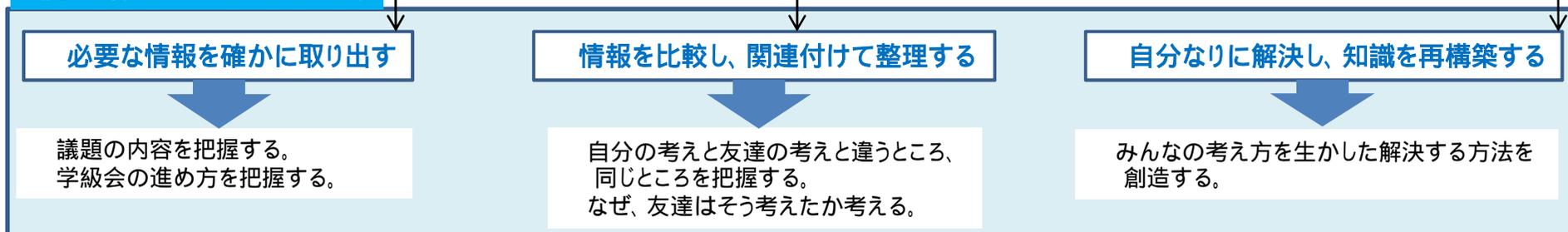
「読み解く力」により、子どもたちが話し合う内容を理解し、考えを出し合うことができます。そして友達との意見の共通点や相違点を確認、折り合いをつけるなどして考えをまとめることができます。

学級や学校における生活づくりへの参画



(みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)(国立教育政策研究所 平成30年7月)より作成)

「読み解く力」による考え方



話し合う内容を理解し、考えを出し合うことができる。そして友達との意見の共通点や相違点を確認、折り合いをつけるなどして考えをまとめることができる。

全ての子どもの「読み解く力」を高めるために必要なことは？「特別支援教育の視点から(1/2)」

学習の中で「わかった!」「できた!」と実感できることを目指し、集団全体への指導・支援の工夫(授業の工夫・ユニバーサルデザイン化)を行います。

特別支援教育の視点を生かして、集団全体への指導の工夫や、授業における個人への配慮・個人に特化した指導を行うことにより、学びにくさや、「読み解く力」につまづきのある子どもを支援します。

学級や学校における生活づくりへの参画 【再掲】

議題や話合いの進め方の理解

- 議題の内容や話し合うことを理解し、提案理由やめあてにもとづいて、一人一人が自分の考えを再確認したり、学級会の時間配分や進め方を共通理解したりします。

解決方法の話合い

- 出し合う
- 一人一人の思いや願いを大切にしながら、「話し合うこと」について自分の考えを発表し合います。

- くらべ合う
- よりよい解決方法等を見つけるために、質疑応答を通して意見の共通点や相違点を確かめたり、賛成意見や反対意見などを述べたりしながら話し合います。

解決方法の決定

- まとめる(決める)
- いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いをつけるなどして、みんなの考えをまとめ、合意形成を図ります。

(みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる 特別活動(小学校編)〔国立教育政策研究所 平成30年7月〕より作成)

「読み解く力」による考え方

①必要な情報を確かに取り出す

- 議題の内容を把握する。
- 学級会の進め方を把握する。

②情報を比較し、関連付けて整理する

- 自分の考えと友達のと違うところ、同じところを把握する。
- なぜ、友達はそう考えたか考える。

③自分なりに解決し、知識を再構築する

- みんなの考え方を生かした解決する方法を創造する。

必要な情報を確かに取り出す

- ・短冊などを使い、視覚的に分かりやすくして、課題を明確に示します。(字の色や大きさなどへも配慮)

つなげて発表しよう	意見	～と思います。理由は、～だからです。
	さん	〇〇さんの意見にせい さんせいです。理由は、～だからです。
に	〇〇さんとにいて、～です。	
は	〇〇さんに付けられ	
反応しながら聞こう		
指示された時	「はい！」	
なっとくした時	「ああ～」	
	うなずく	
おどろいた時	「おお～」	
すごいと思った時	声+拍手!	

情報を比較し、関連付けて整理する

- ・グループでの相談内容をホワイトボードにまとめることでやりとりが見える形にします。
- ・スモールステップで意見が言えるように進めたり、クラス全員から意見が引き出せるように工夫します。
- ・「発表の仕方」や友達の発表の「聞き方について約束事」を決めておくことで、安心して自分の思いを伝えやすくなり、互いの意見を尊重し合う雰囲気を作り出されます。

自分なりに解決し、知識を再構築する

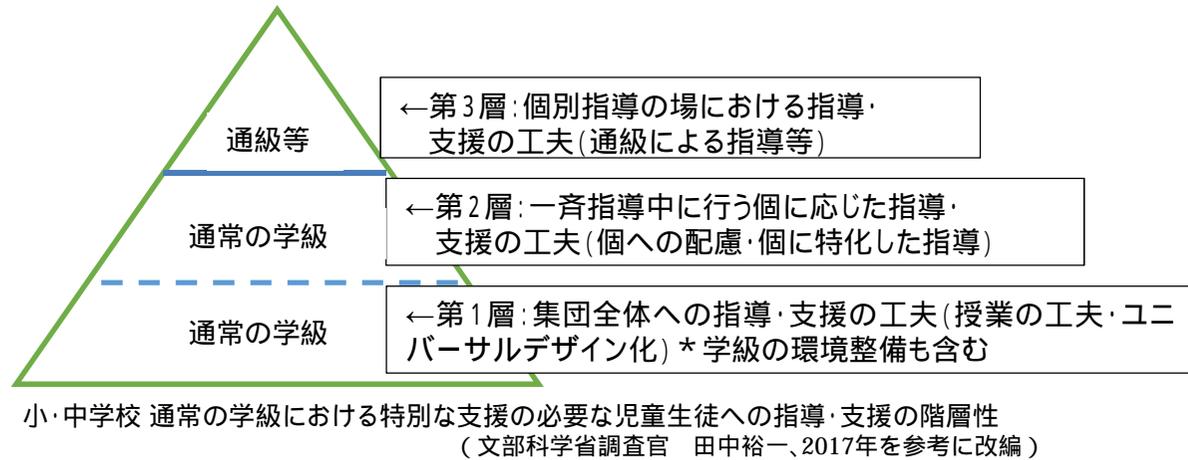
- ・振り返りの時間を設け、振り返り方に基づいて内容の確認を行います。また、新たに考えたことや友達の意見のよかったことを振り返ります。

ふり振り返り名人	
こんなことを書こう!	
・	わかったこと
・	できるようになったこと
・	思ったこと
・	がんばったこと
・	「なるほど!」と思った友だちの考え
これも書けたら	
○	前に学習したこととのつながり
○	にしているところ
○	使えること
○	使えどう場面

特別支援教育の視点から、
全体指導での工夫を行います

全ての子ども「読み解く力」を高めるために必要なことは？「特別支援教育の視点から(2/2)」

特別支援教育の視点から、
個に応じた指導の工夫を
行います



必要な情報を確かに取り出す

情報を比較し、関連付けて整理する

自分なりに解決し、知識を再構築する

ことばのまとまりがわかるように

支援の
キーワード

「補助線などを使って、課題の難易度を下げる」

今日、朝から雨が降っていました。けれども夕方にはやんで、外に出ると、やさしい夕焼けが見えました。



文節にスラッシュを入れると、ことばのまとまりがわかるようになってきます。指でなぞりながら読むことで、集中力が高まり文章が理解しやすくなります。

①最初は先生と一緒にスラッシュを入れて読む。

②自分で指でなぞりながら読む。



子どもたちの「わかった」「できた」を増やそう！「特別支援教育の視点を生かした授業づくりヒント集」(平成31年3月 滋賀県教育委員会)では左図の例のほか、上図第1層、第2層における指導・支援の工夫を中心に教育上特別な支援を必要とする児童生徒に見られる「困難さ」に対して、「授業における工夫」と一斉指導中に行う「個に応じた手立て」をお示ししています。詳しくは滋賀県教育委員会のホームページをご覧ください。

滋賀県 ヒント集

検索

全ての子どもの「読み解く力」を高めるために必要なことは？「人権教育の視点から」

子どもが学校生活等の中で「読み解く力」を高めていくためには、学級集団が安心して思いを出し合える人間関係で支えられていることが重要です。

他者とのやり取りから読み解く力を高める

自分の考えをもつ

自分の考えをもつ

共に学び合う

出し合う

くらべ合う

学びをまとめる

まとめる(決める)

「読み解く力」による考え方

必要な情報を確かに取り出す

【個人】
友だちの発表を受容的に傾聴する。
相手のしぐさや表情などからも相手の思いを想像する。

【集団】
誰もが遠慮なく、自分の意見を発表できる。

情報を比較し、関連付けて整理する

【個人】
感じ方や考え方は、多様であることに気づく。
友だちの考えの理由やその考えに至る背景等を知る。

【集団】
友だちの新たな一面を発見することで、より深く理解し合う。

自分なりに解決し、知識を再構築する

【個人】
友だちの考えを共感的にとらえることで、自分の考えを改めて見つめなおす。
自身のものの見方や考え方を広げ、自分の考えをより深める。

【集団】
集団の中で、自分らしさを発揮でき、他者とながらうことや協働のよさを感じる。

違いを認め合い、互いの思いを受け止め合える人間関係を築きます。

思いを読み解き理解する「読み解く力」とは？(自分の思いを伝えるために)

例えば、友達との対話の中で、「読み解く力」が高まることによって、より相手の気持ちを理解し、その上で相手に受け入れてもらえるように自分の思いを伝えることができます。

シリーズ
人権教育

「伝える 伝わる つながる」



(教育しが第61号から作成)

帰宅すると、居間のテーブルに学校からの連絡プリントと娘の作文が置いてありました。日頃あまり娘と話をすることがなく、気になって読んでみました。

私は吹奏楽部の部長をしています。地域のイベントで吹奏楽部が出演することになり、楽しいコンサートにしようかと張り切っていました。合奏練習中、私は自分たちが楽しくなければ、お客さんも楽しめないと思い、指揮台に立って「もっと楽しく」「もっといきいき」と声をかけるのですが、私のイメージ通りにならず、「あまり楽しさが伝わってこない。それに演奏もバラバラ。」と注意しました。その後、「頑張るのよ。がんばって言われたくない。」

「あれこれ注意するけど、細かいことばかりで嫌だわ。」

と、みんなは口々に言い返すのです。私は思わず、「そんなにいい加減な気持ちだよ。お客さんに失礼じゃないの？」と言いつ返してしまいました。みんなは不満そうな顔をしていました。最近、演奏にまとまりがなく、私は部長として正しいことを言っているのに、自分の思いが伝わらず、合奏が楽しくありませんでした。ある日のことです。打楽器メンバーが練習をしている様子が気になって廊下越しで見つめました。

【曲の最初のリズムを強調して叩くよ。】

【このリズムを強調した方がいいよ。叩くよ。】

【いいよ。そこを強調したいのだったら、叩くよ。】

【あ、本当にその手順で練習するよ。】

みんな得意見を出し合いながら練習を進めていました。みんな楽しんで、合奏の時と雰囲気違います。打楽器メンバー全員で曲づくりに取り組んでいる姿に目を奪われました。その時、ハッとしました。

「合奏の時、みんなの気持ちを受け止めず、一方的に伝えていただけだ。しかも私は、伝わらないことを周りにせいで、自らみんなとのつながりを断ち切っていたのではないか。」

「ねえ、一緒に音楽しようよ。」

打楽器の音が、その私に伝えてくるように聞こえました。そして、「音楽は一人でするものじゃない。必ず周りの音を聞かないとそれいけません。だから、お互いが認め合わなければ演奏は成立しませんよ。」と、話された顧問の先生の言葉を思い出しました。

そのあと、合奏練習を始める前に、私は「私たちがお客さんが一緒に楽しめる演奏にするにはどうしたらいいか、みんなの意見を出してください。」と声をかけました。最初は私の態度の変化にとまどっていましたが、やがて何人かが意見を出してくれました。

「私たちが妥協せずにもっと曲づくりを頑張りたいわ。」

「手拍子や動きも演奏と同じくらいにしっかりしたいわ。」

「いろいろ意見を出しながらやってみよう。」

その日は今までの違い、「一緒に曲をつくっている」雰囲気のある合奏になりました。お互いに思いが伝わりつながることで、音楽がこんなに変わるものかと感じました……

作文を読んでいる時、娘が居間にやって来て、「あっ、その作文読んでくれたの？」と声をかけてきました。

「ああ、今読んでるのよ。部活でいろいろあったんやなあ。」

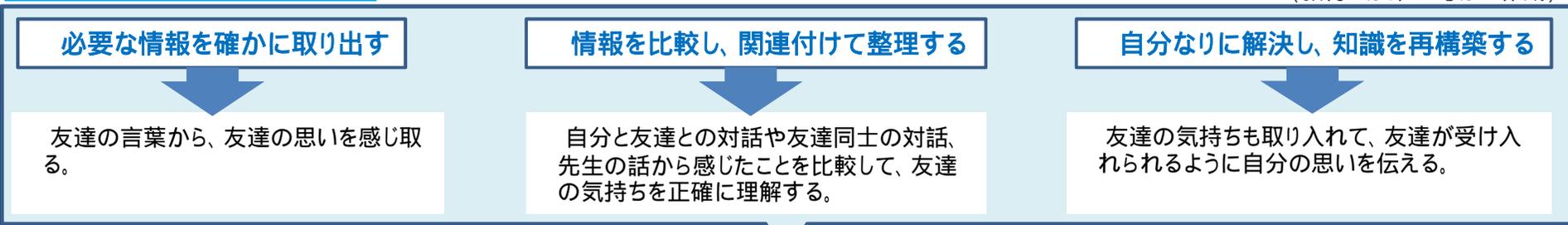
と、私が言っていると、

「うん。部長になってから、なんかかきなきゃと必死で、周りがみえなくなると、人との関わりで大切なことを忘れてたと思うの。でも、そのことに気づけたから、今はみんなと気持ちがつながって、部活が楽しくて仕方ないの。」と、笑顔で答えてくれました。

私は先週のコンサートで見せてくれた娘の笑顔の思い浮かべ、「伝え、伝わり、つながる」素敵な経験ができたんだなと思いながら、作文の続きを読み始めました。

問合せ先 人権教育課 ☎077-1528-4592

「読み解く力」による考え方



友達との対話の中で、「読み解く力」が高まることによって、より相手の気持ちを理解し、その上で相手に受け入れてもらえるように自分の思いを伝えることができる。

全国学力・学習状況調査で求められる「読み解く力」とは？

「読み解く力」の考え方により、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができます。

平成31年度全国学力・学習状況調査

中学校英語 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」調査

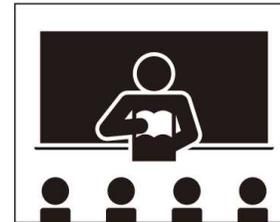
10 まとまりのある文章を書く(「書くこと」調査)

出題の趣旨

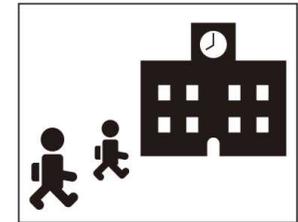
与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

[A]



[B]



正答

(例)【あなたの選んだ案:A】

I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library.

「読み解く力」による考え方

必要な情報を確かに取り出す

情報を比較し、関連付けて整理する

自分なりに解決し、知識を再構築する

ピクトグラムAとBの特徴を捉える。

「学校」を表すピクトグラムAとBの相違点を考える。

相互の関連に注意を払い、全体として話題や文章構成に一貫性のある文章を書く。

Aは教室で先生が生徒に本を読んでいるようだ。



Bの建物は「学校」みたいだけど、外国の人もそう思うかな。

分かりやすくまとまりのある文を書くには、まず、結論から言って、次に理由で...



比べるのだから比較級を使おう。理由を言うにはbecause ~だね。

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

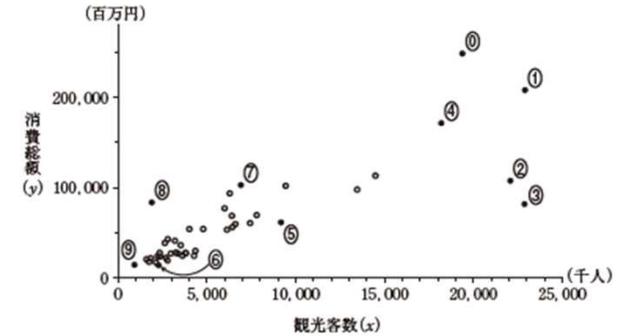
大学入学共通テストで求められる「読み解く力」とは？

「読み解く力」を使うと、問題解決にあたり、例えばその根拠を数学的に分析し説明することができる。

平成29年度大学入学共通テスト試行調査 数学・数学A

地方の経済活性化のため、太郎さんと花子さんは観光客の消費に着目し、その拡大に向けて基礎的な情報を整理することにした。以下は都道府県別の統計データを集め、分析しているときの二人の会話である。会話を読んで下(原文ママ)の問いに答えよ。ただし、東京都、大阪府、福井県の3都府県のデータは含まれていない。また、以後の問題分では「道府県」を単に「県」として表記する。

太郎: 各県を訪れた観光客数をx軸、消費総額をy軸にとり、散布図を作ると図1のようになったよ。
 花子: 消費総額を観光客数で割った消費額単価が最も高いのはどこかな。
 太郎: 元のデータを使って県ごとに割り算をすれば分かるよ。
 北海道は…。44回も計算するのは大変だし、間違えそうだな。
 花子: 図1を使えばすぐ分かるよ。



44県それぞれの消費額単価を計算しなくても、図1の散布図から消費額単価がもっとも高い県を表す点を特定することができる。その方法を、「直線」という単語を用いて説明せよ。

「読み解く力」による考え方

必要な情報を確かに取り出す

情報を比較し、関連付けて整理する

自分なりに解決し、知識を再構築する

散布図の観光客数(横軸)と消費総額(縦軸)の特徴を捉える。

縦軸の変化量と横軸の変化量の関係を考える。

直線の傾きから統計資料を分析する方法を理解する。グラフを統計資料の分析に活用できるようになる。

観光客数が増えると消費総額も増えていくね。

それぞれのデータと原点を結びと傾きが違う何本かの直線が引けそうだね。

データと原点を結ぶ直線の傾きが消費額単価といえそうだ。

各県を表す点のうち、点と原点を結ぶ直線の傾きがもっとも大きい点が答えだろう。

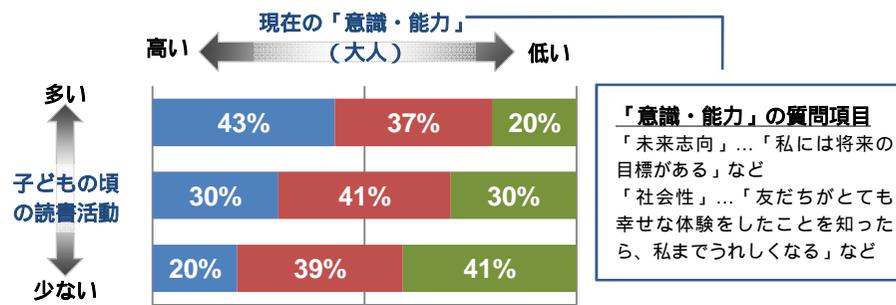
同様に考えると、人口密度について考えるときも各県の人口と面積の散布図を作れば同様に求められるのでは…

数学的な見方・考え方を働かせ、自分の考えを数学的な表現を用いて的確に説明することができる。さらに、他の事象との関係を認識し発展的に考察することができる。

読書と「読み解く力」の関係は？

読書は、本がつくる言葉の世界に触れることで、語彙力、表現力、想像力、集中力などを高め、「読み解く力」の基礎をつくります。近年、様々な調査において、「未来志向」や「社会性」などの意識・能力や、学力との関係性が指摘されています。

子どもの頃の読書活動と現在の「意識・能力」との関係

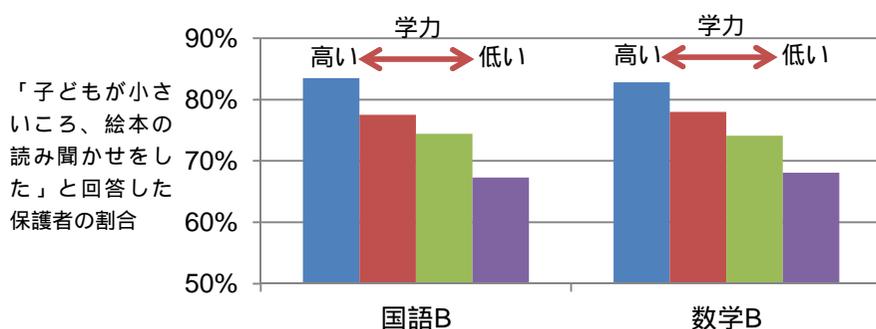


出典：独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究」(2013年2月)をもとに作成

子どもの頃に読書活動が多い大人ほど、「未来志向」や「社会性」などの「意識・能力」が高いという調査結果があります。

読書でかけがえのないものが育まれます

幼いころの絵本の読み聞かせと学力との関係



「国語B」「算数B」は全国学力・学習状況調査における主として「活用」に関する問題

「学力」と「幼いころの絵本の読み聞かせ」には一定の関係が見られます。

コトバが育つ
ココロが育つ



出典：平成29年度文部科学省委託事業 国立大学法人お茶の水女子大学報告書(2018年3月)P30 図表4-2 「保護者の子供に対する接し方と学力層」をもとに作成

発達段階ごとの読み解く力は？

子どもの発達に伴い、読み解く力にかかる力がどのように育っていくのかを三つのプロセスごとに整理したものです。読み解く力を育てていくための基盤として共通理解しておきたい事項です。

読み解く力	発達段階ごとの特徴					
	就学前		小学校低学年	小学校高学年	青年前期（思春期）	青年中期
	乳幼児期（0～2歳頃）	幼児期（3～6歳頃）				
自分なりに解決し、知識を再構築する 理解・再構築	泣く、笑うなどの表情や発声により、思いを表現する。自分の欲求を表現し、大人との関わりの中、大切にされることで情緒が安定し、人への信頼感を獲得する。信頼感を拠りどころとして自分の意思や要求を身近な人に働きかけるなどする	協同的な遊びや学びから、他者の受容を経験し、社会性の基盤がはぐくまれ、楽しかったことを伝え合う	大人の価値判断の影響を受けやすいが、自分なりの価値判断をするようになる 自分の言葉で表現し、伝えるようになる	自分なりの価値判断で行動する 友達と伝え合い、考えを修正したり、深めたりする自分の言葉でまとめ、伝え合うことで考えを深めていく	目に見えない抽象的な事柄について深い思索をするようになる 情報の信頼性を確かめ、自分の知識や経験を踏まえて自分の考えをもち表現する	人間や社会に対する認識が深化し、法やきまりに対してもそれ自体の正しさを問うなどの認識が進む他者と協働し、持続可能な社会づくりに主体的に参画する 文章の要旨を的確に捉え、その論理性を評価する
情報を比較し関連付けて整理する 分析・整理		自己中心性（自己発揮）から、他者の存在や視点に気づくようになる。身近なものに関心を持ち、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	他人の立場を認めたり、理解したりする能力が徐々に発達する 友達と自分の考えを比較するようになる	対象を分析したり、自分を客観視するようになる 事実と感想、意見を整理したり分類しながら、自分なりに根拠をもって考える	自意識が一層強まる 取り出した情報を相互に比較したり、関連付けたりしながら整理する。文章や図表、現象などの情報の関係を理解する	大人の社会でどのように生きるのか模索し始める 多面的・多角的に考察し公正に判断する。読解した内容について必要に応じて要約や詳述をしたりする
必要な情報を確かに取り出す 発見・蓄積	視覚・聴覚・嗅覚などから感じ取る	身近な人や周囲のもの、自然など興味関心の対象が広がり、認識力、社会性が発達する。身体感覚を伴う直接的な体験や具体的な事物から身近な世界に対する認知を広げる	活動範囲が広がり、ある程度時間と空間を超えた見通しが持てるようになり、自然などへの関心も増す 言葉と認識の力が高まり、文章や絵などから、自分が知りたいことを見付ける	文章の内容を的確に押さえて要旨を捉え認識する力が付いてくる 文章や図・表などから目的や意図に応じて必要な部分をとり出す	自己の意識と現実の差に悩みつつ、ものごとを客観的に捉えようとする 文章の内容や文章に表れている考え方、表現の仕方に注意して読み、目的に応じて必要な情報を読み取る	生活空間が飛躍的に広がり、それに伴って情報も生活体験も格段に拡充する。選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する 文章の構成、展開、要旨を的確に捉える

引用・参考文献：各発達段階における子どもの成育をめぐる課題等について（参考メモ）[改訂]（文部科学省）
 ：子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題（文部科学省）
 ：小学校 中学校 高等学校学習指導要領

学齢期以降については、発達段階ごとの特徴を上段に、読み解く力に関わる事項を下段に分けて記載